



わたしたちの環境活動・SDGs活動



熊本県立水俣高等学校

みなまたオイスタープロジェクトチーム

熊本県水俣市洗切町1 1 - 1



水俣で牡蠣の最適養殖地を見つけよう！

水俣湾はかつて「いお（魚）わく海」と言われるほど漁業資源が豊富な宝の海だった。しかし水俣病がおきたことによる漁業の停止とその後の水俣湾の埋め立て等により、水俣の漁獲量は減少し、漁業が衰退している。水俣高校では、水俣地域の漁業の衰退という地域課題解決のため、水俣湾での牡蠣の養殖に最も適した場所を見つけるというプロジェクトを実施している。水俣市漁業協同組合、国立水俣病総合研究センターと連携し、6年間に渡る研究を続けてきた。今年度は水深によって牡蠣の生育がどのように変化するか、という実験を水温や栄養塩濃度との関係を考察しながら行っている。また水俣で育ったブランド牡蠣の美味しさをより多くの人にってもらうための方法についても検討を行っている。再生した今の水俣の良さ、美味しさを全国の人に届けたい。